

【参考様式1】

令和7年度
教育課程特例校における特別の教育課程
【実施状況報告】

池田市立 石橋小学校

1. 概要

池田市では平成16年3月に構造改革特別区域計画の認定を受け、「教育のまち池田」特区に取り組んできました。市立小学校全学年に「英語活動」を教科として導入（全学年年間35時間）し、平成18年度より全小学校で実施してきました。

平成20年7月より「構造改革特別区域研究開発学校」規制の特例措置が全国展開されたことにより、本市の特区認定は取り消され、文部科学省の「教育課程特例校」指定に移行し、これまでの特区内容の教育課程を継続実施しています。

平成25年度に「教育課程特例校」の実施期間の終了を迎えましたが、平成26年度以降も継続を申請し、1～4年生における「英語活動」の授業を実施しました。

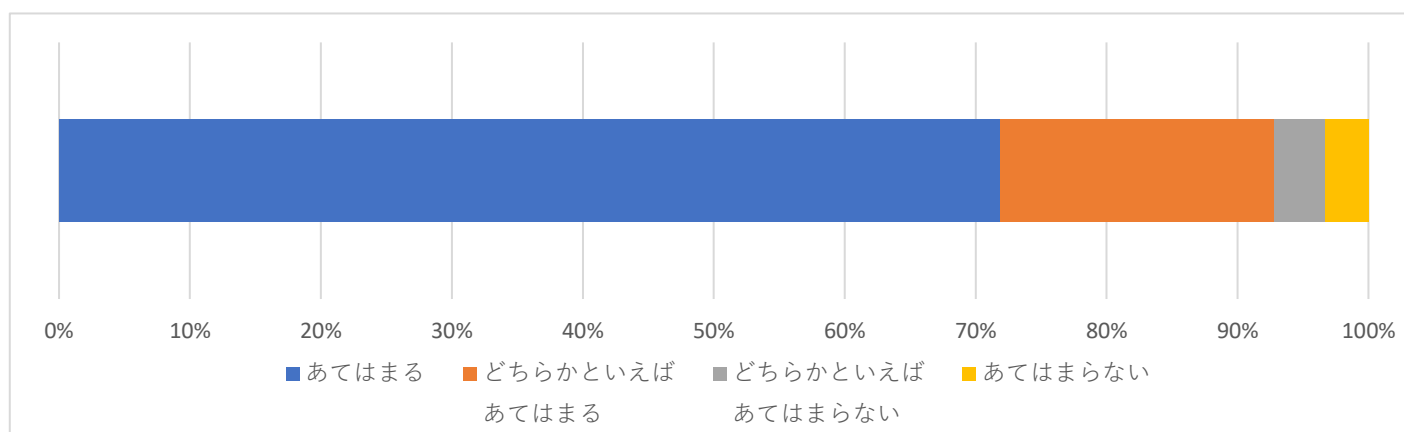
新学習指導要領への移行に伴い、「英語活動」は引き続き1・2年生で実施し、幼稚園、小・中・義務教育学校での継続的な英語学習をすすめています。

この1・2年生の「英語活動」は生活科の時間を活用して年間15時間実施しています。内容としては主に英語のリズムや音に慣れ親しむ活動を重点にし、挨拶や動作、身の回りのものを表す単語を題材にした活動を取り入れています。早期の段階から英語に触れることで、ことばや文化に対する関心を高め、正しく理解し、国際社会で生きる力を育成することをねらいとしています。中学年からの外国語活動、高学年からの外国語科への学びの連続性を意識して指導にあたっています。

2. 児童アンケートの結果

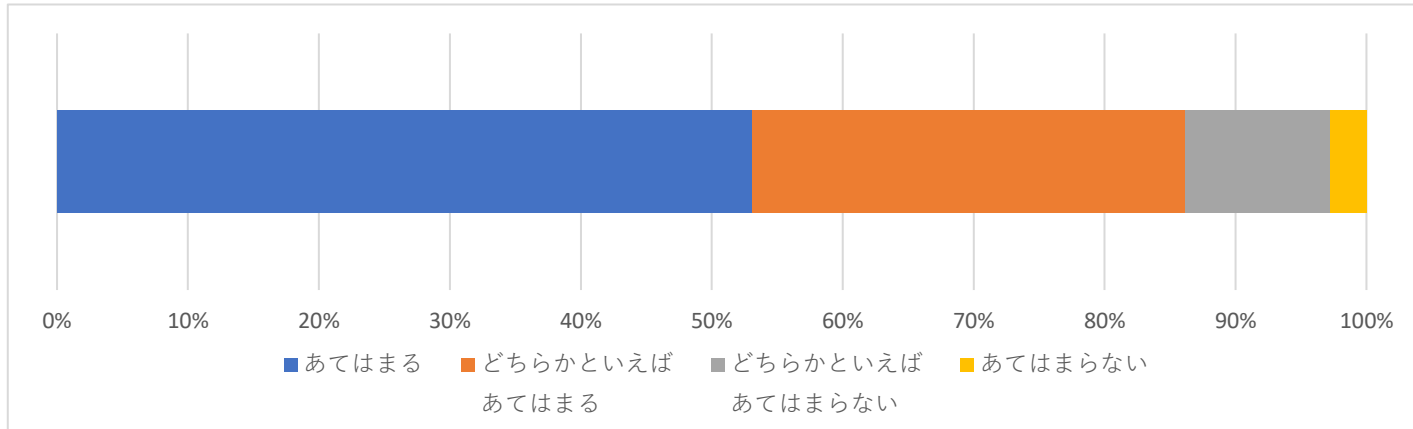
① 英語の勉強は好きだ。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	72	16	2	3
2年生	58	22	5	3
合計	130	38	7	6



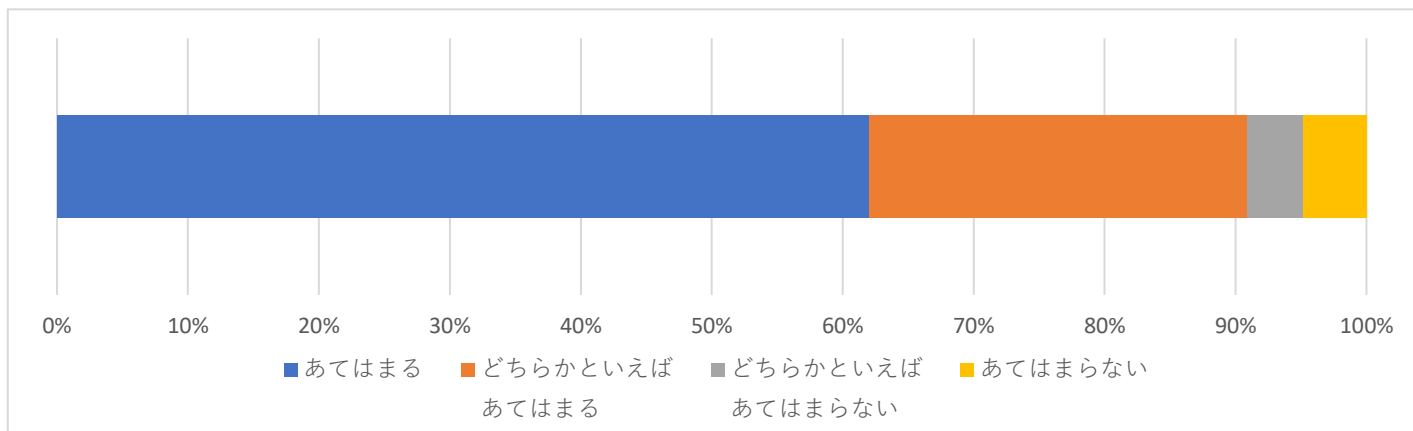
② 英語の授業はよくわかる。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	46	33	12	2
2年生	50	27	8	3
合計	96	60	20	5



③ 外国の人と英語を使って話せるようになりたい。

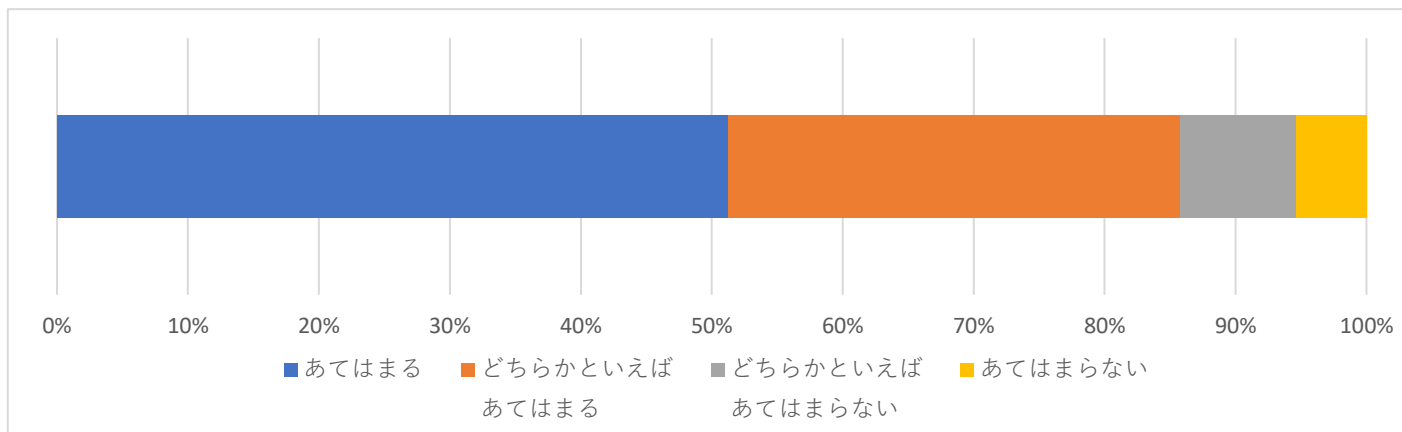
	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	62	26	4	4
2年生	54	28	4	5
合計	116	54	8	9



3. 保護者アンケートの結果

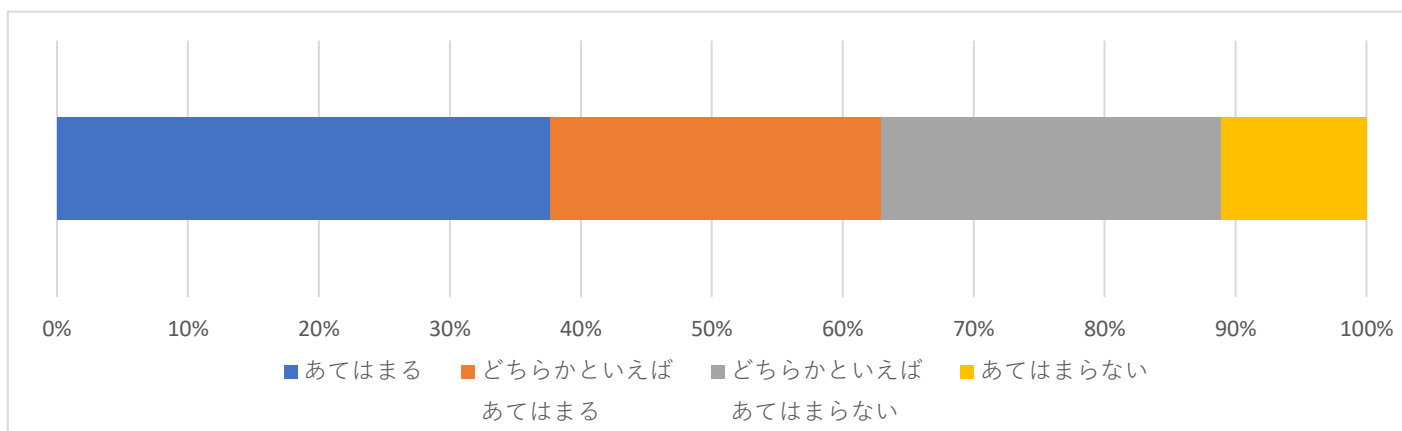
① 児童は、英語学習を楽しんでいる。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
合計	162	109	28	17



② 英語の授業のことを家庭で話題にしますか

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
合計	119	80	82	35



4. 学校関係者からの意見

- ・ 臨界期があると聞く。低年齢からはじめると歌やゲームを通して、自然におぼえられる。
- ・ 大人になってから英語を学ぶと、頭で考えてしまう。感性豊かな子どもたちは、低学年からするべきだ。
- ・ やるならば、もっと時間数が多くてもいい。毎日の積み重ねが大切なので、朝学習の時間を使うのもいいのではないか。
- ・ 「英語よりも国語の授業をするべきだ」という意見もあるが、英語と日本語と両方の力が伸びる。どちらかがおろそかになることはない。
- ・ 子どもたちが楽しそうに英語を学習していることがとてもよい。

5. 今後に向けて

「1. 英語の勉強は好きだ」に対して約90%以上の児童が、「2. 英語の授業はよくわかる」に対して約85%近い児童が肯定的な回答をしています。外国語を学び始める低学年児童にとって、「英語が好き」「わかった」と感じることは大切です。今後も、児童が楽しんで外国語に慣れ親しむことができるような活動に取り組んでいきます。また、「3. 外国の人と英語を使って話せるようになりたい」に対して約90%以上の児童が肯定的な回答をしています。今年度は、全校で関西万博を訪れ、様々な国の文化に触れました。来場している方にも、進んで英語で話しかける姿が見られました。休み時間にも、進んでALTとコミュニケーションを図ろうとする意欲的な姿も見られました。外国の人や文化に触れる機会をこれからも取り入れ、中高学年につながる外国語の力を伸ばして